

老年看護学実習（2単位）

1. 実習目標

1) 実習目標

老年期の特徴を理解し、健康障害のある対象に必要な看護を考えられる能力を養う。

2) 行動目標

- (1) 看護を展開するために必要な情報を収集する。
- (2) 老年期の加齢に伴う身体機能・心理の変化、社会的背景の変化について述べる。
- (3) 患者・家族の強みを活用し、日常生活行為を維持するために効果的な援助を実施する。
- (4) セルフケアを障害するものを見極め、患者・家族のQOLの維持向上を目指して援助を行う。
- (5) 対象・家族の生きてきた人生背景や価値観を尊重した態度をとる。

2. 実習方法

- 1) 受け持ち患者を決定し、看護を展開する。

3. 留意点

- 1) 実習初日に、病棟オリエンテーションを受ける。
- 2) 「実習計画表」は、事前に一日の実習目標・計画を立案する。(担当教員に相談・報告する)
当日、計画表に基づき実習を行い、目標達成状況を記載する。(病棟看護師に助言を受ける)
- 3) 学生主体で毎日カンファレンスを行い、学習体験の共有と疑問の解決を図り、学びを深め、広げる。実習5日目までに中間カンファレンスを実施する。実習終了日は、実習での体験とカンファレンステーマを関連づけて終了カンファレンスを行う。
- 4) 実習終了後、実習での学びをレポートにまとめる。